

わかもの支援窓口支援例

支援期間は原則3か月で、期間内に約8割の利用者が再就職を決めています。
一度プロの相談員と相談してみませんか。

支援例1

- 女性(20歳代)
- 希望職種:事務
- 直近の雇用状況等

学校卒業後、工場での梱包作業や受付接客等のアルバイトを経験し、転職希望で退職。

一部正社員の経験はあるが、大半は非正規雇用。

○抱える問題

- 事務の就労経験がない。
- 自己理解及び職業理解が不足している。
- 土日が休日の事業所を希望している。
- いままで知人の紹介で就職していたため、履歴書・職務経歴書は書いたことがなく、面接も受けたことがない。

支援内容・ポイント・経過

- キャリアインサイト(適性診断)を使い、何に関心があるか等の方向性を確認した。
- 求人票を情報提供し、事務の職務内容を窓口で一緒に検討および確認し、紹介状を手交した。
- 応募書類については、志望動機、実績、自己PRについて、採用担当者が理解しやすいように作成するようアドバイスした。
- 面接の雰囲気や質疑応答に慣れるため、応募先が決まった後、応募先に応じた模擬面接を繰り返した。

結果

- 上場企業の正社員の事務職として採用。
- 支援期間約2か月

支援例2

- 女性(30歳代)
- 希望職種:未定
- 直近の雇用状況等

医療事務の資格を取得し、複数の医療機関で非正規雇用として働くも、いずれの事業所でもパワハラ等で退職。

○抱える問題

- 職業訓練受講等による職種変更を考え、職種は検討中。
- 医療事務も選択肢だが、病院勤務はトラウマがあり、二度と働きたくない。
- 医療事務の資格および経験があるが、経歴の割にはスキル不足を自他ともに認識している。

支援内容・ポイント・経過

- 過去の職務や苦悩した経験を傾聴しながら、信頼関係構築を第一に考えた対応を心掛けた。
- 現実的かつ早期に再就職できる可能性を考えると、医療事務が一番可能性が高いという相談結果になり、本人も納得した。
- 応募書類の作成支援。本人の持っているスキルを自己PRの前面に押し出すことにより、自信回復とともに応募先へよりアピールができるようにした。
- 病院以外で医療事務のスキルを生かせる介護施設、小規模クリニック、薬局などの求人検索を一緒に行い、紹介状を手交した。
- 応募先に合わせて面接対策を数回行った。

結果

- 地元薬局の正社員の医療事務として採用。
- 人間関係は良好とのこと。
- 支援期間約1か月

支援例3

- 女性(40歳代)
 - 希望職種:事務系
 - 直近の雇用状況等
 - 正社員の事務職(経験は通算10年以上)で勤務するも業績悪化のため、会社都合退職。
- 抱える問題
- 年齢等により書類選考を通過しない。
 - 希望の賃金が相場より高く、該当求人が少ない。
 - 過去は早期に就職できているため、予想外の厳しさに自信を無くしている。

支援内容・ポイント・経過

- 現在の就職活動の厳しさを伝えつつ励まし、進捗状況を伝えてもらい、不安な気持ちを傾聴し、モチベーションを高めるよう心掛けた。
- 応募書類の作成支援。幅広い事務職としてのキャリアをわかりやすく編集し、事業所の業務内容に合わせた職務経歴書にするよう見直した。
- 生活設計を見直し、希望の給料を緩和することにより求人選択の幅を広げた。
- 過去の採用情報や事業所の社風等を検討し、求人の選定を慎重に行い、紹介状を手交した。

結果

- 小規模事業所の正社員の事務職として採用。
- 面接の結果賃金等が求人票提示額よりも高額になったとのこと。
- 支援期間約3か月